



鉄の歴史村フォーラム2006
奥出雲たたら経営の特徴

鉄の歴史村フォーラム2006

地域を見つめ発信する

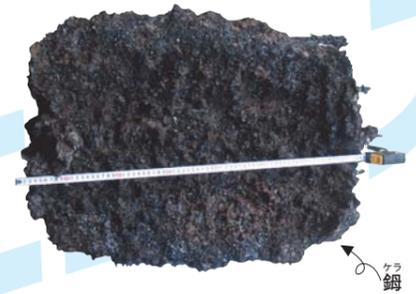
(財)鉄の歴史村地域振興財団の主催による「鉄の歴史村フォーラム2006」が11月11日、吉田健康福祉センターで開かれ、多くの歴史愛好家や研究者などが参加しました。今年で19回を数えるフォー



ラムの基調講演では、島根大学教育学部の相良 英輔教授が、奥出雲たたらの特徴について生産高、経営規模などのデータを基に、石見地域のたたらと比較しながら説明されたほか、奥出雲では鋼よりも鉄(銑鉄)という種類の鉄を多く生産し、割り鉄などの「地鉄」にして出荷されていた事例などもスライドを交えて分かりやすく紹介されました。また、フォーラムの一環として、7日から11日まででは実際に砂鉄から鋸(鋼のもとになる塊)を精製する「近代たたら操業」もあり、全国各地から集まった実習生らが砂鉄672kg、木炭695kgから147kgの鋸を取り出しました。



たたら操業には、ドイツから視察研修に来ていたバイオリン製作のマイスターも参加し、実習生と同じように24時間作業場で過ごしました。



さくら研修会



桜守の川淵昭一さんと周藤利夫さんも同行し、アドバイスされました。

が「良い」など具体的な管理方法を話されました。引き続き、32名の受講者は、先生とともに斐伊川堤防や三刀屋川河川敷の桜並木、加茂町段部のしだれ桜などを訪れ、実際に桜に触れ、観察しながら生態や手入れのポイントについて学びました。



12月3日、平成18年度さくら研修会が開催され、チエリヴァホールでの講演と市内の桜並木などでの実地研修が行われました。講演では、島根県景観アドバイザーや日本樹木医学会島根県支部顧問などを務める樹木医の柿田義文先生が「花が咲く時だけでなく、1年を通して管理してやらなければならない」、「剪定の時には、見栄えでなく、植物ホルモンが多くある部分を残して切った方

大東町発

ふいとこ戦隊 ダイトレンジャー



ダイトレンジャーは、大東町商工会青年部の有志らで構成するダイトレンジャープロジェクト実行委員会(青木渉代表)がその舞台を演出しています。

わがまちの戦隊

今回は、雲南市のローカルヒーローで、イベントなどでも馴染みの「ふいとこ戦隊ダイトレンジャー」を紹介します。

ダイトレンジャーとは
ダイトレンジャーは、ホタルレツド、カグラブルー、タナバタイエローの3人組。現在、雲南市の自然と文化と歴史を守るため、各種イベントや保育園・幼稚園を訪れ、ヒーローショーを繰り広げています。

もともと「手づくりのヒーロー」の活動を通し、子どもたちに、ふるさとへの愛着や誇りを持つて欲しい」との想いから結成され、登場人物の名前も地元祭りの芸能にちなんでいるほか、シヨのストーリーは、ヤマタノオロチ伝説をモチーフにしたり、方言や地名なども取り入れられています。

登場人物紹介
ダイトレンジャー
ホタルレツド 地域の自然を愛し、必殺技はホタルフラッシュ。
カグラブルー 地域の文化を愛し、必殺技は神楽真空斬り。
タナバタイエロー 地域の歴史を愛し、必殺技はタナバタイエラクシーウェーブ。

そのほかのヒーロー
マルコヤマン ダイトレンジャー誕生前のヒーロー。なかなかお目にかかれない。
カールのおやっさん ダイトレンジャーの生みの親。



悪の秘密結社ZONZO
オロチ総統 敵の親玉。
怪人オツゾー 総統の手下。
ゴンゾー ZONZOの戦闘員。2〜3人いる。

ご当地ヒーローで地域活性化
県内唯一の戦隊ヒーローのダイトレンジャー。平成17年春には、長野県で行われた全国各地のローカルヒーローが集まるイベントに



も参加されました。青木代表は「現在、市内を中心に、松江市や出雲市、米子市などでの各種イベントで公演しています。最近、応援してくださいる方も多くなり、また公演の感想などいただいたり、うれしく思います。シヨを通じて、子どもたちに、雲南市が「魅力あるふるさと」ということが少しでも伝われば良いと思います」と抱負を語ってくれました。

ご当地ヒーローの活動は、雲南市のPRや地域活性化にも繋がっています。

出演依頼やお問い合わせは、大東町商工会 ☎085414312488まで。

また、ダイトレンジャーの活動にご協力いただける方を募集していますので、お気軽にお電話ください。